

2023年7月31日

株式会社産業革新投資機構  
JICベンチャー・グロース・インベストメンツ株式会社

## JICVGI オポチュニティファンド1号投資事業有限責任組合の設立について

- ・ JIC傘下の JIC VGI が新たにファンドを組成（ファンド規模：400億円）
- ・ ダイレクト・セカンダリー戦略、上場済みスタートアップに対する成長資金の供給
- ・ 国内セカンダリー市場、グロース市場の発展に貢献

株式会社産業革新投資機構（本社：東京都港区、代表取締役社長：横尾敬介、以下「JIC」）は、傘下の JIC ベンチャー・グロース・インベストメンツ株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：鎌水英樹、以下「JIC VGI」）を運用者とする、JICVGI オポチュニティファンド1号投資事業有限責任組合（以下「OPF1」）を400億円で組成します。

JIC は、オープンイノベーションによる企業の成長と競争力強化に対する資金供給を通じた民間投資の促進や投資人材の育成等を行い、我が国の次世代産業を支えるリスクマネーの好循環の創出をミッションとしています。

JIC はミッション達成のため、民間ファンドへの LP 投資や傘下のファンドによる企業等への投資を通じて政策的に意義のある事業分野への投資を行います。

JIC VGI は、2020年9月に組成した JIC ベンチャー・グロース・ファンド1号投資事業有限責任組合（以下「VGF1」）、2022年12月に組成した JIC ベンチャー・グロース・ファンド2号投資事業有限責任組合（以下「VGF2」）によるスタートアップへの投資を行ってきました。今般、OPF1 を組成することにより、ユニコーン創出、上場済みスタートアップの持続的かつ飛躍的な成長の支援の受け皿となるべく、投資活動に取り組んでまいります。

本件は、昨年公表された政府の「スタートアップ育成5か年計画」に盛り込まれた JIC の取組の一つです。

### OPF1 の設立について

#### 1. JIC の投資基準

JIC の投資基準\*においては、重点投資分野として「ユニコーンの創出」等が掲げられており、グローバルな経済圏において競争力をもって持続的に成長することを目指すユニコーン（企業価値が10億ドル以上となる未上場企業）に対する長期かつ大規模なリスクマネー供給が必要とされています。

\*<https://www.j-ic.co.jp/jp/investment/criteria/>

## 2. 投資分野の現状

国内市場ではグロス・レイターステージのスタートアップに対し、事業を十分に成長させるための大規模なリスクマネー供給は限定的であり、また今後ファンド存続期間の満期を迎える国内 VC のファンド数の増加が見込まれる状況にあります。他方、国内市場ではプライマリー投資家によるスタートアップへの出資持分等を取引するようなセカンダリー市場は十分に発展しておらず、こうしたことがスタートアップの比較的小規模な IPO の要因の一つとなっています。国内市場では M&A 等、スタートアップの IPO 以外の Exit 手段は限定的であり、非上場のまま事業の更なる成長・拡大を志向するスタートアップに関し、セカンダリーファンドに対するニーズは増えていくことが想定されます。

また、国内市場で早期に比較的小規模な IPO を実施したスタートアップは、時価総額の小ささや市場流動性の低さ等を要因に国内外の機関投資家からの投資を受けにくく、上場後の持続的な株価の上昇や成長資金の調達に難しいという、市場の構造的課題に紐づく困難に直面している場合があります。他方、こうしたスタートアップの中には相応の資金調達によりオーガニックな成長の加速や M&A 等を通じた非連続な成長が実現する可能性を持つ企業が存在しています。

## 3. OPF1 について

OPF1 は、JIC 傘下の JIC VGI を運用会社として組成された投資ファンドです。

JIC VGI は、ベンチャー・グロス投資活動により我が国のイノベーションを促進し、国際競争力の向上、日本の産業及び社会課題の解決を目指すことをミッションとしています。VGF1（ファンド規模：1,200 億円）ではユニコーンに成長する可能性を持つスタートアップを選定し、グロス・レイターステージでの投資を通じて IPO 前の更なる成長を支援しています。VGF2（ファンド規模：2,000 億円）においても成長資金が必要なシリーズ B 以降のエキスパンション、グロス、レイターステージのスタートアップを主たる投資対象としつつ、ディープテックやライフサイエンス領域のアーリーステージ以降のスタートアップへの投資にも注力しています。

OPF1 では、数年内に IPO が見込まれるミドル・レイターステージのスタートアップの既存株主持分を直接セカンダリーで取得し、ユニコーンへの成長を支援する「ダイレクト・セカンダリー戦略」に加え、IPO 後の成長資金調達に課題を抱えるスタートアップの持続的かつ飛躍的な成長を支援するための「アフターマーケット戦略」を掲げています。両戦略を通じてスタートアップの成長曲線を一段と押し上げ、ユニコーンの創出や有望な上場済みスタートアップの持続的かつ飛躍的な成長の支援の受け皿となることを目指します。また、OPF1 によるダイレクト・セカンダリー領域、アフターマーケット領域における投資成功事例を作り出すことで、民間の投資資金の呼び水となり、国内セカンダリー市場や、グロス市場の活性化、国内スタートアップ・エコシステム全体の強化・拡大に寄与することを目指しています。

### <OPF1 の概要>

#### (1) 名称

JICVGI オポチュニティファンド 1号投資事業有限責任組合

(2) ファンド規模

400 億円

(3) ストラクチャー

- ・無限責任組合員（GP）：

JIC ベンチャー・グロース・インベストメンツ株式会社（JIC VGI）

- ・有限責任組合員（LP）：

株式会社産業革新投資機構（JIC）

VGf2-OPF1 役職員投資事業有限責任組合

(4) 存続期間

10 年間（延長あり）

(5) 投資領域

OPF1 は資本市場における課題（未上場・上場を問わず、将来的に顕在化されうるものも含む）を先行して捉え、課題解決に向けた適切な手法で投資を行う投資戦略であり、対象とする産業領域に原則として制約を設けておりません。但し、リスクマネーが不足している産業分野として VGf1 及び VGf2 が掲げる以下の業種への投資に重点的に取り組めます。

| ステージ                | 産業分野                                |
|---------------------|-------------------------------------|
| グロース                | 情報通信                                |
|                     | 金融（フィンテック、セキュリティ技術等含む）              |
|                     | 運輸・小売                               |
|                     | 製造業                                 |
|                     | サービス業                               |
|                     | 教育・医療・福祉サービス業（介護、保育等を含む）            |
|                     | ヘルスケア（ICTヘルスケア（ハード/ソフト含む）、検査機器等を含む） |
|                     | 健康医療（創薬・医療機器等を含む）                   |
|                     | 教育（EdTech等含む）                       |
|                     | 建設・ユーティリティ                          |
|                     | 素材化学                                |
|                     | 一次産業（農業、食品等含む）                      |
|                     | 新産業（宇宙、量子、ディープテック等含む）               |
|                     | その他、日本の産業競争力強化に資する領域                |
| その他、日本の社会課題解決に資する領域 |                                     |

| ステージ | 投資領域     | 技術領域等   |
|------|----------|---|
| アーリー | ディープテック  | 知能化技術（AI等の先端情報技術）                               |
|      |          | ロボティクス（機構設計、知覚認識、運動制御）                          |
|      |          | 宇宙利用技術（地球観測、衛星利用）                               |
|      |          | 量子情報技術（量子計算機、量子アルゴリズム）                          |
|      |          | 人間拡張技術（Human Augmentation、AR/VR）                |
|      |          | Fintech／分散型情報技術（ブロックチェーン）                       |
|      |          | 新エネルギー／脱炭素技術（クリーンテック）                           |
|      |          | その他、高度な革新的技術領域                                  |
|      | ライフサイエンス | 「医薬品、医薬機器等の品質、有効性及び安全性確保等に関する法律」（薬機法）に該当する製品の開発 |
|      |          | 薬機法に該当する製品の開発を支援するサービス又はそのサービス基盤となる技術           |

<運用会社概要>

名称： JIC ベンチャー・グロース・インベストメンツ株式会社

設立： 2020年7月

所在地： 東京都港区

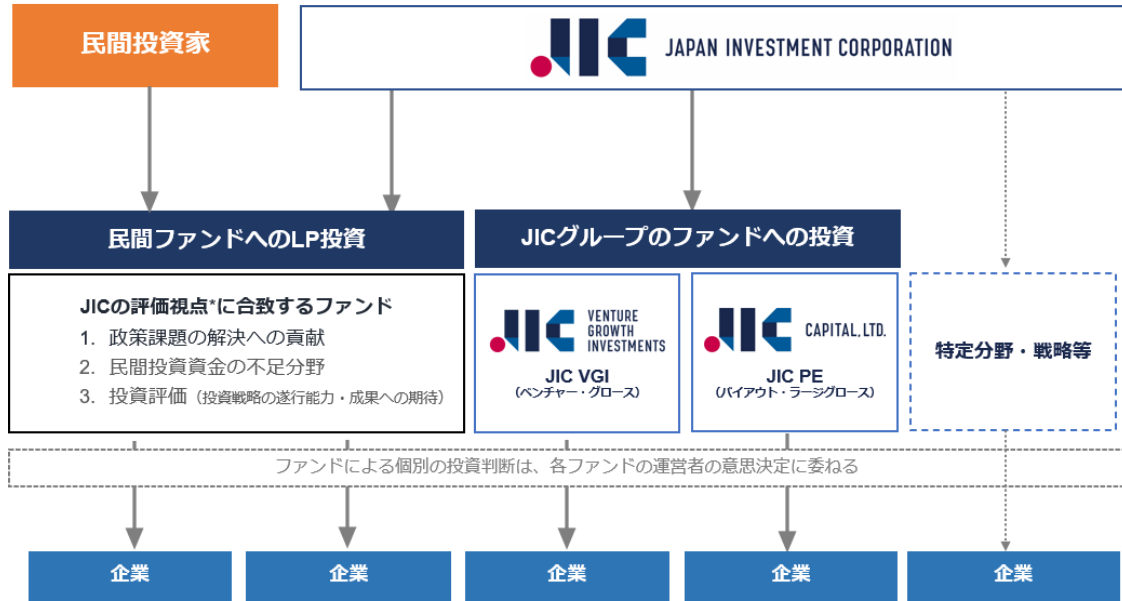
代表取締役社長 CEO： 鎌水 英樹

(参考) JIC のファンド投資戦略

## JICの投資戦略図



経営理念に基づき、民業補完の原則の下、ファンドへの投資を通じ、オープンイノベーションによる企業の成長と競争力の強化に向けたリスクマネーを供給します。



\*上記視点に加えて、募集状況、ファンド（運用者）の成長段階、JICの役割・ポートフォリオ等の観点から総合的に勘案する。

(C) JIC. All Rights Reserved.

(参考) JIC の LP 投資のねらい

(1) 企業の成長と競争力強化に向けたリスクマネー供給の「呼び水」  
産業競争力強化の観点から重要であるものの、民間投資資金が不足している分野（投資戦略、セクター、ステージ、地域等）への資金供給を行い、短期及び中長期的な民間投資資金の「呼び水」となることを企図します。

(2) リスクマネーの好循環を支える多様な投資チーム・投資人材・投資戦略の創出

### ①投資チーム

JICからの投資を通じて、ファンドの運用チーム（運用会社）の経験値とトラックレコードを積み上げ、投資家への対応力を上げることで、次号ファンド以降機関投資家（年金・海外投資家等）からのリスクマネー仲介の担い手としての成長を促進します。

### ②投資人材

JVCA（一般社団法人日本ベンチャーキャピタル協会）等の業界団体、機関投資家、投資先運用者の協力を得ながら、運用者におけるベストプラクティスの研究・導入、投資人材の育成を支援します。

### ③投資戦略

日本に定着している戦略以外の戦略でも、ファンド設立等に対し JIC が LP 投資することで市場に多様性と厚みを付加します。

### **株式会社産業革新投資機構（JIC）について**

JIC は 2018 年 9 月、産業競争力強化法に基づき発足した投資会社です。JIC は、Society5.0 に向けた新規事業の創造の推進、ユニコーンベンチャーの創出、地方に眠る将来性ある技術の活用、産業や組織の枠を超えた事業再編の促進、を重点投資分野としています。これらの分野に対し、傘下のファンドや民間ファンドへの LP 投資を通じてリスクマネーを供給することで、我が国におけるオープンイノベーションを推進し、我が国産業の競争力強化や投資エコシステムの拡大に貢献することを目指しています。

<本発表資料に関するお問い合わせ先>

株式会社 産業革新投資機構 経営企画室 広報 奥村、野々宮（報道関係）

東京都港区虎ノ門 1-3-1 東京虎ノ門グローバルスクエア

電 話：03-5532-7086（広報直通） URL：https://www.j-ic.co.jp/jp/